

登録コード	TSH60500	開講年度	2026			
授業科目	融合情報システム特論				担当教員	北 直樹
英文授業名	Multidisciplinary Information Systems 1				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・3時限	対象学生
講義室	工C3-203教室		授業形態	講義	備考	情報数理・融合システム分野1～2年生
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ					
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力			ビジュアルコンテンツを対象とし、その課題の発見、および解決スキルの習得を授業の達成目標とする。特にコンピュータグラフィックス（CG）を軸として、CGにおける最適化手法や様々なトピックの紹介を通じて課題発見、および解決方法を学ぶ。また、自ら実装を行い、既存の手法を再現／アレンジすることで実践的な解決スキルを習得する。		
(2)授業の概要	ビジュアルコンピューティング（VC）はコンピュータを使用してビジュアルコンテンツを扱う研究分野である。この授業では、特にコンピュータグラフィックス（CG）を軸としてVCに関連するトピックを紹介する。また受講者にはVCに関する論文を読んで内容を紹介してもらうとともに、論文の追実装や自分なりのアレンジを加えたシステム実装／作品制作を行い、その成果を発表してもらう。 一連の活動を通じて、ビジュアルコンテンツの扱い方、課題解決手段を身につける。					
(3)授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 論文紹介 第3回 CGにおける最適化（基礎） 第4回 CGにおける最適化（応用） 第5回 エンタテインメントコンピューティング（基礎） 第6回 エンタテインメントコンピューティング（応用） 第7回 可視化（基礎） 第8回 可視化（応用） 第9回 中間報告 第10回 コンピュータショナルデザイン 第11回 コンピュータショナルファブリケーション 第12回 xR 第13回 プレゼンテーション 1 第14回 プレゼンテーション 2 第15回 まとめ					
(4)成績評価の方法	レポート（60％）、プレゼンテーション（40％）					
(5)成績評価の基準	【レポート】 《記述》：論理的で分かりやすいか、過不足のない適切な分量か、引用の出典明記、およびフォーマットは適切か 《図表の活用》：図表などの補助資料を効果的に活用しているか 《実験・分析・議論》：比較実験やその結果の分析・議論を行っているか 【プレゼンテーション】 《発表態度》：聴衆を意識した前提知識のもとで発表を行っているか、発表は分かりやすいか、聞き取りやすい声量、スピードか 《スライド》：図表を効果的に活用し、分かりやすいスライド構成となっているか 《質疑応答》：聴衆の質問に対して適切な応答を行っているか（質疑用スライドの準備等を含む） 以上の【レポート】【プレゼンテーション】の重み付き和を評価することで、授業達成目標に対する到達度を以下のように判断する。 卓越している（秀）：90%以上 かなり上にある（優）：80%以上 やや上にある（良）：70%以上 合格水準にある（可）：60%以上 なお、ディスカッションなどの授業貢献の度合いに応じて加点を検討する。					
(6)事前事後学習の内容	毎回の授業スライドで次回予告を行うので、その内容を事前に自身で調べてみるとよい。					
(7)履修上の注意	なし					
(8)質問、相談への対応	【対面对応】 即答できるものは授業後に対応可、そうでない場合は、改めて日時を設定して対応。 【メール受付】 北のメールアドレス（下記）宛てに、件名に「【融合情報システム特論】 について」のように、この授業に関する問い合わせであることが分かるように記載したうえで連絡すること。					

(8)質問,相談への 対応	nkita@cs.shinshu-u.ac.jp
(9)その他	
【教科書】	指定しない
【参考書】	指定しない